

ジョイント・ディグリープログラム  
2026年度(10月入学)名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程  
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻学生募集要項

### 1 概要

名古屋大学大学院理学研究科では、英国スコットランドのエディンバラ大学理工学部と共同で1つの学位を授与する、いわゆるジョイント・ディグリープログラムとして大学院博士後期課程名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻の学生を下記により募集します。

学生は在学中において、12ヶ月程度の期間をエディンバラ大学にて研究を行います。

### 2 アドミッション・ポリシー/カリキュラム・ポリシー/ディプロマ・ポリシー

#### ・アドミッション・ポリシー

入学者には次のような資質を備えていることを求め、本プログラムのアドミッション・ポリシーとする。

- ① 理学を中心とする自然科学に関する高い学問的素養と論理的思考力を備える。
- ② 多様な文化・環境への高い関心と適応力を持つ。
- ③ 環境・文化の異なる2つの大学で共同学位の取得を強く希望し、将来は理系分野での専門性を活かし、グローバル社会を牽引するリーダー的人材になるなどのビジョンを持つ。

#### ・カリキュラム・ポリシー

世界トップレベルの2大学間における相互補完的国際共同教育・研究プログラムにより、両大学にそれぞれ一定期間滞在し、研究指導を受けることで最先端技術・環境を駆使した研究活動を可能にする他、語学能力や異文化理解力を身につけることもできる。また、“Professional Development Training”や“International Skills Training”などの履修任意の講義やセミナーを提供することでさらに幅広い実用社会的スキルや応用力の涵養を可能とする。

#### ・ディプロマ・ポリシー

自然科学分野の深く多様な学問的素養と高い研究推進能力を体得した証として、課程で学び、得た学問的成果をゼロから体系的に論じた学位論文を書き上げる。高い倫理性や豊かな国際性、科学的論理性や創造力を身に付け、国際的な共同事業や共同研究を推進できることを確認する。

### 3 出願資格

次の各号の一に該当し、かつエディンバラ大学の出願資格を満たした者で、願書受付締切から遡って2年以内に受検したIELTSの各項目のスコアが6.0以上かつ総合が6.5以上であり、研究に専念できる者

- (1) 本学大学院又は日本の他の大学院で修士の学位を授与された者及び2026年9月末日までに修士の学位を授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位を授与された者及び2026年9月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位を授与された者及び2026年9月末日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位を授与された者及び2026年9月末日までに授与される見込みの者

- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年9月末日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、上記資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年9月末日までに24歳に達する者

出願資格(7)、(8)により出願する者は、事前審査を行う。

該当者は2026年6月11日(木)(必着)までに、1.氏名 2.住所、電話及びメールアドレス 3.履歴(高校卒業後、現在まで) 4.志望研究室名を記載した書類(様式は自由)を提出すること。その後、教務学生係から事前審査書類をメールで送付する。

#### 4 募集人員 若干名

#### 5 願書受付期間

**2026年7月8日(水)～2026年7月14日(火)**

受付時間 **10時～12時、13時～16時**

(郵送による場合も、上記期間内で、**7月14日(火)16時まで**に到着したものに限り受け付ける。)

#### 6 出願書類

出願にあたっては**2026年6月22日(月)まで**に [ri-dai@t.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:ri-dai@t.mail.nagoya-u.ac.jp) に連絡して、以下の書類を受け取ること。メール表題は必ず「国際連携理学専攻学生募集について」と明記すること。

- (1) 入・進学志願票、履歴書、写真票、受験票  
[本研究科所定の用紙に必要事項を記入の上、出願前3ヶ月以内の撮影の写真を貼付すること。]
- (2) 成績証明書(和文・英文各1通ずつ)  
[本研究科修了(見込)者は不要。]
- (3) 修了(見込)証明書(和文・英文各1通ずつ)  
[本研究科修了(見込)者は不要。]
- (4) 修士学位論文要旨(英文で作成すること)  
[本研究科所定の用紙。本研究科修了(見込)者は不要。]
- (5) 入学検定料  
30,000円コンビニエンスストア又はクレジットカードで払い込むこと。支払い後、自ら印刷した「収納証明書」を志願票の所定欄に貼ること。支払い方法は連絡後指示する。
- (6) 受験票送付用封筒 1枚  
[長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、本人の宛名を明記し、110円切手を貼付すること。]
- (7) 受験承認書  
[官公署その他民間会社等に在職している者は提出すること。]
- (8) 英語検定試験IELTSの公式スコアシート

〔願書受付締切から遡って2年以内に受検したものを有効とする。〕

(9) 類型該当性の自己申告書

〔7 出願手続の注意事項(6)を参照すること。〕

## 7 出願手続

出願者は、前項 (1)～(9)の書類を添え、本研究科教務学生係へ提出すること。

出願書類等の完備しない願書は受理しない。郵送での提出を推奨する。

### ◎注意事項

(1) 出願者は、**事前に必ず研究指導を希望する本研究科教員に連絡を取る**こと。

(2) **出願書類を郵送する場合は**、書留郵便とし、封筒の表面に必ず「大学院入学志願書」と朱書して**締切日時までに必着**するよう送付すること。

(3) 出願後は記載事項の変更及び検定料の払戻しはしない。

(4) 障害等があつて試験場での合理的配慮を必要とする者にあつては、2026年6月4日(木)までに、以下3点を添えて、その旨を理学研究科教務学生係へ申し出ること。

(a) 受験上の配慮申請書(障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの、様式随意、A4サイズ)

(b) 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等(写しでもよい)。

(c) 障害等の状況を知っている第三者の添え書(専門家や出身学校関係者などの所見や意見書)

適宜上記以外の書類を添付しても構わない。

なお、受験や入学後の修学に関して相談の希望がある場合は、出願期限までに理学研究科教務学生係へ問い合わせること。

(5) 留学生は安全保障輸出管理を受験までに実施する必要があるため、可能な限り早めに志望する研究分野の教員と連絡をとること。なお、第1志望の研究室に配属されない場合には、安全保障輸出管理の制約で研究内容の制約を受ける可能性があることを理解した上で出願すること。

(6) 2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となる。これに伴い、学生が出願の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」の転出が必要となる。

※類型該当性の判断について不明な場合は下記に問い合わせること。

名古屋大学学術研究・産官学連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail:anzen@t.thers.ac.jp TEL:052-747-6702

(7) 名古屋大学(東海国立大学機構)では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」(以下「規程」という。)を定め、貨物の輸出、技術の提供(人の受入を含む)について厳格な審査を実施している。規程に抵触する場合は、入学試験の選抜に合格しても入学が認められない又は入学後の研究活動等に制限がかかることがあるので、留意すること。詳細については、以下のウェブサイトを参照すること。なお、該当者には、個別に通知する。また、この場合も既納の検定料は返還しない。

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural>

## 8 選抜方法

アドミッション・ポリシーを基に、各専門領域の研究遂行にふさわしい基盤的知識や理解力さらに語学力について、出願書類による審査と口述試験を行い、2国間での履修に問題が生じないかを両大学合同で評価し選考する。

## 9 選抜日時

オンラインで行う。日時場所等詳細は受験票送付時に通知する。

## 10 入学時期

2026年10月

## 11 合格発表

日時 2026年9月10日(木)正午頃

理学研究科ホームページ(<http://www.sci.nagoya-u.ac.jp>)に掲載するとともに、本人あて通知する。

## 12 入学料及び授業料

入学料 282,000円(2026年9月下旬の大学が指定する入学手続き期間内に納めること。)

授業料 半期分 267,900円(年額 535,800円)

(注1) 授業料は、前期及び後期の2期に分けて、前期にあつては5月、後期にあつては11月に納入する。

(注2) 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改正時から新たな納入金額が適用される。

## 13 その他

(1) 出願にあたって提供された氏名・生年月日・住所その他の個人情報、入学選抜、合格発表、入学手続き及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うためのみに利用する。また、取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しない。

(2) 入学試験に関する照会先

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院理学研究科

教務学生係

電話(052)789-5756

E-mail: [ri-dai@t.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:ri-dai@t.mail.nagoya-u.ac.jp)

(3) 入学手続きについては、合格決定後本人に通知する。

(4) エディンバラ大学留学に関して、エディンバラでの滞在費について経済的支援をする予定。具体的な支援額は留学期間及び予算状況等を勘案して決定する。

### 緊急の連絡について

感染症や自然災害等により、試験日程や選抜方法の変更があり得ます。変更が生じた場合は、理学研究科ホームページでお知らせしますので、随時必ず確認してください。

- 理学研究科ホームページ(大学院受験生の方へ)

<http://www.sci.nagoya-u.ac.jp/graduate/index.html>

- 連絡窓口 名古屋大学大学院理学研究科 教務学生係 [ri-dai@t.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:ri-dai@t.mail.nagoya-u.ac.jp)